

一般社団法人 北海道環境保全技術協会 主催
平成 29 年度第 1 回環境保全技術セミナー

日時：平成 29 年 8 月 4 日（金）、14 時 00 分～16 時 35 分
場所：札幌国際ビル 8 階 国際ホール（札幌市中央区北 4 条西 4 丁目 1）

【セミナーの内容】

1. 『道環協 技術レポートNo.9 （仮題）自然由来重金属等の掘削土対策における人工資材による対策の設計・施工マニュアル』

〔概要〕 トンネル工事などで発生する重金属等を含む掘削土の対策は、近年、サイト概念モデルに基づくリスク評価の考え方が多く採用されている。一般社団法人北海道環境保全技術協会では、これまでに「自然由来重金属等の対策におけるリスク評価マニュアル（技術レポートNo.5）」や「吸着層工法設計マニュアル（技術レポートNo.6）」を発売しており、これらのマニュアルでは、リスク評価に基づく対策設計にあたっての基本的な考え方を示している。一方で、トンネルなどの施工条件や盛土場所の周辺状況によっては、リスク評価による対応が適用できない場合もあり、本マニュアルでは吸着材や不溶化材といった人工資材を活用した掘削土対策の設計・施工にあたっての考え方をとりまとめた。

〔発表者〕 土壌ワーキンググループ 畔原 孝典氏（株式会社ドーコン環境事業本部地質部副主幹）

2. 『植物由来 有害重金属六価クロム土壤汚染環境復元資材の開発』

〔概要〕 近年、国内外において有害重金属などで汚染された土壤の環境修復・改善についての法整備が行われており、環境汚染対策に必要な技術や資材が求められている。弊社では汚染土壤に含まれる有害重金属六価クロムを無害化する資材を開発し、国内外の環境関連企業に提供しており、その資材について紹介する。

〔発表者〕 株式会社トーワ建設 企画開発事業部札幌分室 常務取締役 室山 雅彰氏

3. 『重金属汚染土壤対策への地球化学モデリングの利用について』

〔概要〕 重金属汚染土壤対策として、不溶化工法や吸着層工法は一般的な対策工法となりつつある。それら対策工法に使用される不溶化材や吸着材に関する基礎的な研究例を紹介し、さらにその結果に対して地球化学モデリングというツールを利用する有用性、実用性について報告する。

〔発表者〕 株式会社環境材料エンジニアリング 代表取締役 山本 中一氏
技術開発部 北大研究室 木下 久美子氏
技術開発部 北大研究室 野澤 笑子氏

参加者 127名

